

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法の開発に関する研究
当院の研究責任者	所 属：消化器肝臓病センター・消化器内科 責任者：田中斉祐
他の研究機関および各施設の研究責任者	大阪府済生会吹田病院 名誉院長 岡上 武
本研究の目的	我々は2008年から行ってきた“非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)の病態解明と診断法の開発に関する研究”において、網羅的遺伝子関連解析(GWAS)により PNPLA3, DYSF が NASH 肝癌の感受性遺伝子であることを報告した(PLoS ONE, 2018)。特に DYSF が NASH 肝癌の感受性遺伝子の一つである事を明らかにしたのは世界で初めてであり、validation studyの重要性を指摘されている。そこで、DYSF が NASH 肝癌の感受性遺伝子遺伝子であることを確認するために、NASH 肝癌を対象に GWAS を行う。また、最近 apoptosis inhibitor of macrophage(AIM)、特に free AIM が NASH 肝癌で特異的に上昇することを明らかにしており(J Gastroenterol 2018)、可能なら上記症例における血清中の AIM を測定する。
調査データの該当期間	実施場所は市立奈良病院消化器科外来または病棟 <ul style="list-style-type: none"> ・症例の登録と採血：承認日～2018年12月31日 ・遺伝子および蛋白発現の解析：承認日～2019年3月31日 ・データの解析：承認日～2019年9月3日
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	年齢：18歳以上の NASH 肝癌患者。年齢は問わない 性別：不問 病態：問診、血液生化学検査、画像診断あるいは組織学的検査などにより NASH 肝癌と診断された症例 症例数：50例以上 <ol style="list-style-type: none"> ① 十分な説明のうえに同意の得られた対象者から、下記の採取を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. EDTA 採血(8ml)；(血清とリンパ球を採取) 2. 血清採取(採血 3ml) ② リンパ球から DNA を抽出した後、DNA チップを用いて網羅的に SNP 解析を行う。 ③ ELISA 法で血清中の AIM を測定する。

<p>試料・情報の 他の機関への提供</p>	<p>本研究は大阪府済生会吹田病院消化器内科（責任者：岡上武名誉院長）京都大学医学研究科付属ゲノム医学センター（責任者：松田文彦教授）、東京大学疾患生命工学センター分子病態医科学部門宮崎 徹教授、京都府立医科大学消化器内科との共同研究で匿名化した試料・生化学検査、画像検査、組織学的検査結果を提供します。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>個人情報の漏洩防止に関しては、試料の匿名化など個人識別情報を厳重に管理・保管し、被験者のプライバシーの保護に関して万全を期します。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>TEL : 0742-24-1251 担当者：田中齊祐</p>
<p>備考</p>	